

旭川医科大学研究フォーラム 第10巻 (平成22年刊) 目次

依頼論文

新規コレクチンの発見	大谷 克城・鈴木 定彦・若宮 伸隆	2
心血管病を克服する ～私とキリンと温泉と～	長谷部 直 幸	13
看護学教育における看護倫理の基礎形成に関する教授学的検討	稲 葉 佳 江	23
旭川医科大学病院における血液製剤使用量の変動とその要因	紀 野 修 一	41

エッセイ

旭川医大第1期生卒業30周年記念に思う ～開学当初を懐かしみ、悲惨な医療の現実を憂う～	鮫 島 夏 樹	52
---	---------	----

投稿論文

Pro-Drop and Verb Second in Old French: A Weak Phonological Approach to X-second Phenomena	三 好 暢 博	56
地域住民の受診動向、医療連携の現状分析 ～中頓別町国民健康保険病院と旭川医科大学病院を事例として～	住友 和弘・泉田 信行・野口 晴子・菊池 潤・長谷部直幸	64

依頼稿

平成20年度「独創性のある生命科学研究」プロジェクト課題		
1) ミエリンが神経伝導に及ぼす影響と代償機構の解析	研究代表者 板東 良雄	76
2) ペプチドホルモン産生細胞における分泌蛋白質管理過程の特徴と多様性の解明	研究代表者 阪井 裕子	78
3) 筋小胞体 Ca ²⁺ -ATPase の P-N hinge に位置する静電的相互作用の役割についての研究	研究代表者 山崎 和生	79
4) ヒトパピローマウイルス18型 E7 蛋白質の動原体機能に与える影響	研究代表者 柳沼 裕二	80
5) Focal adhesion kinase as an immunotherapeutic target	研究代表者 小林 博也	82
6) ホルムアルデヒド含有食品摂取によるパリエル板を中心とした粘膜免疫系への影響	研究代表者 中木 良彦	84
7) 鉄代謝調節因子ヘプシジンの発現アデノウイルス・ベクターを用いた細胞内鉄イオン濃度の調整と遺伝子治療応用へ向けた基礎検討	研究代表者 佐々木勝則	85
8) 脂肪幹細胞を用いた新しい網膜移植治療	研究代表者 高宮 央	87
9) アルツハイマー病における A β (アミロイドペプチド) 仮説の検証	研究代表者 中村 正雄	89
10) 平滑筋における CRAC チャネル構成タンパク質 ORAI1 の機能と制御分子の解明	研究代表者 宮津 基	90
11) TRP チャネルアゴニスト投与による嗅神経軸索伸長の促進	研究代表者 野口 智弘	91
12) 脳形成異常の病態解明: 一前脳特異的 Cdk5 欠損マウスをモデルとして	研究代表者 高橋 悟	93
13) 関節軟骨表層損傷に対する細胞治療における基礎研究(2)	研究代表者 阿部 里見	94
14) マルチスライスコンピューター断層撮影装置を用いた外傷性胸椎骨折の評価	研究代表者 稲岡 努	95
15) ラット脳虚血モデルにおける脳内への薬物直接投与の有効性について	研究代表者 佐藤 正夫	96
16) 北海道最北地域における病院看護管理者の看護実践の特徴	研究代表者 杉山さちよ	97
17) フラクタル次元を用いた最適血管系ネットワークモデルによる網膜循環動態のシミュレーション法	研究代表者 高橋 龍尚	99
18) 癌症例のホルマリン固定標本における癌幹細胞の同定と局在の検討	研究代表者 三代川齊之	101
19) 脂質代謝調節酵素 lipin-1 のメタボリックシンドロームにおける意義	研究代表者 土屋 慶容	102
JICA「アフリカ地域地域保健担当官のための保健行政」コース		
～受け入れ2年目を終えて～	藤井 智子・北村久美子・吉田 貴彦	104
JICA 母子保健コースの研修について	黒 田 緑	111

学会の動向

第8回日本看護技術学会学術集会を開催して ～生命・生活・希望を支える看護のわざ～	岩 元 純	116
日本生化学会北海道支部第46回例会の主催報告	鈴木 裕	118
第18回日本がん転移学会学術集会・総会を終えて	高 後 裕	121
第22回日本腹部造影エコー・ドブラ診断研究会を終えて	鈴木 康 秋	125
第71回耳鼻咽喉科臨床学会報告	原 測 保 明	127
第58回東日本整形災害外科学会を終えて	松 野 丈 夫	130

学生のページ

第5回世界水フォーラムおよび第4回世界ユース水フォーラムに参加にして	佐藤 裕基・小松 智彦・湯谷 啓明・井上 葵・今泉 里美・青江翔太郎	132
------------------------------------	------------------------------------	-----

本学教員執筆書籍の紹介

新版増補 生命倫理事典	藤 尾 均	136
-------------	-------	-----

旭川医科大学回顧資料(11) 昭和58年度

6月に開学10周年記念行事を盛大に挙行	藤 尾 均	137
---------------------	-------	-----

投稿規程	138
------	-----

編集後記・表紙解説	139
-----------	-----

本誌の刊行目的と編集方針

〈刊行目的〉

旭川医科大学の教官・研究生・大学院生等の学術研究の成果を広く公表するとともに、これを他大学・研究機関等が刊行する類誌と積極的に交換することにより、学術交流を推進し、本学の発展に寄与することを目的とする。

〈編集方針〉

投稿論文の採否は、編集委員会が委嘱した学外の審査員による査読の結果を踏まえ、同委員会が決定する。このほか、医学医療従事者等の生涯学習に資するため、編集委員会が執筆を依頼した論文等を、同委員会で点検のうえ掲載する。刊行は原則として年1回12月とする。

なお、編集委員会は、刊行後すみやかにインターネットの本学ホームページ及び学術成果リポジトリ AM CoR に本誌全文を掲載する。

平成13年7月(制定)

平成19年7月(一部修正)

平成21年4月(一部修正)

旭川医科大学研究フォーラム編集委員会

編集委員(五十音順)

石川 一志	(看護学講座)
牛首 文隆	(薬理学講座)
田中 剛	(ドイツ語)
廣川 博之	(経営企画部/副委員長)
藤尾 均	(図書館長/委員長)

旭川医科大学研究フォーラム 第10巻(通算11号)

編 集 者	旭川医科大学研究フォーラム編集委員会
発 行 者	国立大学法人 旭川医科大学 代表 吉田 晃敏
	〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番地1号
	TEL 0166-65-2221
	FAX 0166-68-2229

印 刷 平成22年2月22日

発 行 平成22年2月22日